

（芹沢銈介の収集品・右より）絞染布（カメルーン）、人物・鳥・草花文刺繍覆い布（インド グジャラート州）、
昆虫・鹿・首架・馬文経緯肩掛け（インドネシア スンバ島）



語り合う 布たち

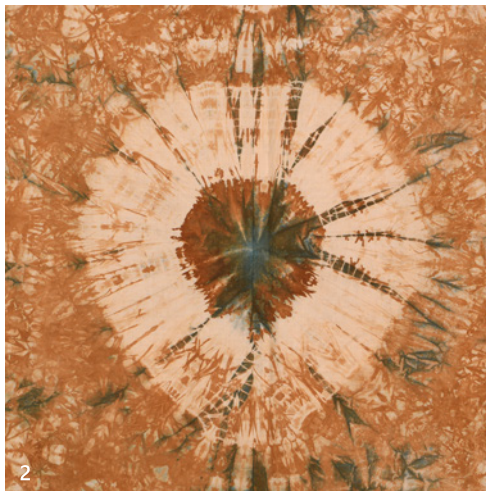
芹沢銈介が集めた
世界の染織

2026 1/4 目
↓
3/15 目

静岡市立 芹沢銈介美術館

静岡市駿河区登呂五丁目 10-5（登呂公園内）
TEL ▶ 054-282-5522 HP ▶ www.seribi.jp

時空を超えた、布たちの競演。



芹 沢銑介は、世界の工芸品の収集家としても知られていますが、その内訳をみると3分の1は染織品です。染織は、毛、麻、絹、木綿など素材の幅が広く、また様々な時代や地域の暮らしが色濃く反映され、多彩な模様や装飾であふれています。芹沢は、古今東西の染織品を集めて制作の参考とするだけでなく、組み合わせで部屋に並べたり、身にまったりして日々楽しんでいました。この展覧会では、世界各地から芹沢のもとに集まった約200点の染織品をご覧ください。展示室の前半では、芹沢銑介の代表作50点を展示いたします。

〈上の写真・芹沢銑介の収集体〉

1. ラフィア椰子製敷物（コンゴ民主共和国） 2. 絞染布（カメルーン） 3. 女子喪装用浮織布（台湾 本島南部山地） 4. こざん身頃（日本 青森県） 5. 絞染肩掛け（インドネシア スマトラ島 パレンバン） 6. 紫細編入紺地鳥文刺繍布（グアテマラ ナウアール）



芹沢さん家 お二階拝見

「芹沢銑介の家」の二階を特別に公開します。芹沢の収集体を鑑賞しながら、随所にこだわりのみられる家をお楽しみください。

日時：2026年3月5日（木）、6日（金）
10:00-15:00（全16回・各回30分）
定員：各回4名
会費：無料（要美術館観覧料）時間予約制

その他のイベントについては、ホームページや公式Xにてお知らせいたします。



▲ペルーの貫頭衣を着た芹沢銑介

（1974年11月 岡山天満屋「芹沢銑介の五十年 作品と身の品々」展会場にて）

静岡市立 芹沢銑介美術館

静岡市駿河区登呂五丁目10-5（登呂公園内）
TEL ▶ 054-282-5522 HP ▶ www.seribi.jp
X（旧Twitter）▶ @seribi_shizuoka（フォローはこちら）



【開館時間】9:00～16:30【休館日】毎週月曜日（1/12、2/23は開館）、1/13、2/12、2/24

【観覧料】一般420円/高校生・大学生260円/小学生・中学生100円/未就学児無料（団体割引は30名以上でご利用いただけます）
※静岡市内在住の70歳以上の方・小中学生（通学含む）無料 ※障がい者手帳等の提示により本人及び同伴者1名無料

【交通】〈バス〉静岡駅南口22番バスのりばから「登呂遺跡」行き乗車、約10分終点下車

〈タクシー〉静岡駅南口から登呂公園へ約10分〈東名高速〉静岡ICまたは日本平久能山スマートICより約10分

〈駐車場〉登呂公園南側に有料駐車場があります（普通車400円/1日）